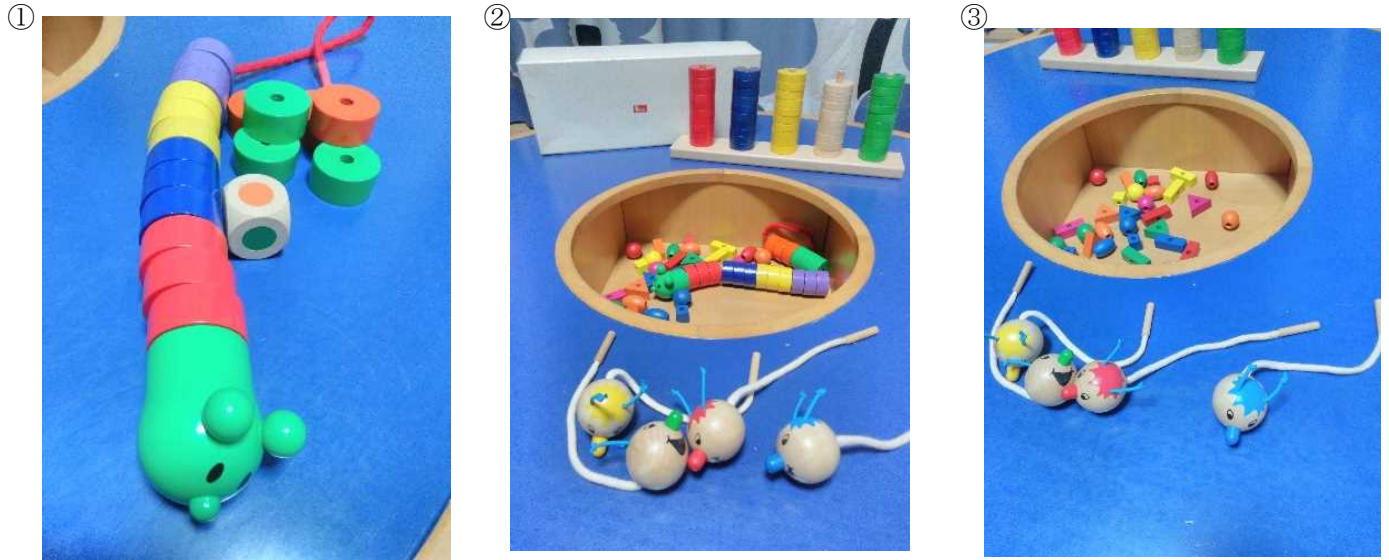


事例・教材 「ながーくなあれ！いもむしくん」

- 狙い・ターゲット： 1) 色のマッチング（サイコロの出た目と同じ色のブロックを見つける）
2) 穴の空いたブロックをヒモに通す（目と手の協応運動、手先の巧緻性）
3) ゲームのルール理解と決まり事を守る習慣を身に付ける



使用教材

・今回は、ドイツ selecta 社のイモムシのヒモ通し（写真①）と WALTER 社（現在は nic 社）の棒挿し（写真②の奥）、ベルダック社のイモムシの形と色のマッチングゲーム（写真③）を使っています。

※イモムシが入手困難な場合は、イモムシの頭部のみをフェルトで作成し、ヒモを頭からはずれないように結びつけば準備完了。そして多くのご家庭でお見かけするロングセラーおもちゃ、nic 社の「プラステン」で代用可です。真ん中に穴が空いた丸いブロックをイモムシの胴体の代わりとして、ヒモに通していく事で、セレクト社やベルダック社のイモムシヒモ通しと同じ遊びが楽しめます。サイコロはブロックの色に合わせて作って下さい。サイコロの残りの 1 面は色ではなくニコニコマークや虹の模様にしてどの色を取ってもいいことにするなどして遊んでください。

内容、方法

①の遊び・・・色のマッチング

1) 穴の空いた丸いブロックを全て机の真ん中に置く。

2) 順番にサイコロを振り、サイコロの色と同じブロックを 1 匹のイモムシの紐に通していく。

②の遊び・・・色のマッチング。誰が一番先にブロックを 10 個（小さい子には集めるブロックの数を 5 個に減らしても OK）繋げられたかな、という競争ゲームが楽しめるあそび。

4つあるイモムシから、自分の色を最初に決める。自分のイモムシの頭の色と同じ色のブロックしか取ってはいけないルールにしたり、取っていい色を 2 色にしたりして、サイコロの出た色に従ってイモムシのからだを伸ばしていく。形ブロックを使う場合は、サイコロの図柄を形に変えて、円柱、球、三角、立方体などを探す遊びにしても OK（写真③）。

方法（補足）

・①は色のマッチングです。サイコロの色とブロックの色を合わせる遊びです。

・②は①にゲーム性を加えて、サイコロの色と同じブロックがなくなってしまったときはパスして次の人に順番を譲るなど、決まりを守ったり感情のコントロールをする力を養います。ゲームにはルールがある事を理解していくのに丁度いいシンプルなゲームです。